
異世界召喚からの色々

天城 あいる

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

異世界召喚からの色々

【著者名】

Z4399P

【作者名】

天城 あいる

【あらすじ】

綾瀬辰巳 あやせたつき は少し周りと違う青年だった。何が違うと言わいたら、なにかが違うとしか言いようがない。まあそんな彼が異世界召喚された理由が……「魔王？おもしろそーだからやつてやるよ」【ご都合主義】【主人公第一主義】【最強】【勇者のくせに魔界最強】

プロローグ

ただ学校帰りにコンビニ寄って、お菓子とかジュースとか買って家に帰ろうとしてた、俺、綾瀬辰巳（ ）。

徳は、何故か真っ黒い
福々しいよな、雾因溪をモ一落としノは落
とされた。

穴はコングビニの横の道にあつた。
くそ、近道したのがいけなかつたか

今考えたら、叫び声も上げずに落ちていく俺は、相当アホなのか、それとも度胸が据わっているといつていいのか……

卷之三

そして今現在。

またまた真っ黒い部屋？地下室？みたいなところで寝つ転がっている。

目を開けてキヨロキヨロと周りを見渡しても、暗いため全然把握できない。

目が慣れ、起き上ると俺は魔方陣みたいなやつの上にいた。

なんだ……？これ？

どういうことなんだ！？

いきなりのことに俺は動搖した。不用意に動くと危険なので目線だけで確認する。

すると扉が開かれ、まぶしい光が襲つた。

くそ、目がいてえ…

「……ま、魔王様…！？」

魔王……だと…？

そして混乱する間もなくあれやこれやと風呂に放り込まれ、着替えをせられ、そして馬鹿デカイ謁見の広間みたいなところにある上座の椅子（王様が座るよつなやつ）に座らされていた。

「…………」

「私の名はヴァイア。僭越ながらあなた様がこの世に召喚されたのを感じとりました。」

そういって頭を垂れるヴァイアさん。

「…………いや、ヴァイアが言つては俺は魔王になるためにこの異世界に召喚されたらしい。先代の魔王がそろそろ隠遁したいと言つ出し、慌てて召喚したとか

「おい。なんで俺なんだ

「350代目魔王様は異世界より召喚されたし。との言い伝えがこ

ざいます

あなた様は選ばれたので『いやこます
どうか、魔王として魔界を統括し、攻めてくるであろう人間たちを
鎮めて頂きたく』

「俺は元の世界に帰れるのか?」

やつらは下を向いて静かに呟つた

「無理かと…」

「やつらか……」

一呼吸置き、口を開いた

「なら俺がなつてやるよ。おもしろそつだし」

ヴァイアはつれしそうに顔を上げ、そしてまた深々と下げた

「ありがとうございます魔王様」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4399p/>

異世界召喚からの色々

2010年12月18日20時20分発行